

南城市地域公共交通計画骨子（案）

令和7年11月28日

南 城 市

■計画の概要

目的

本計画は、地域公共交通計画は、「地域にとって望ましい地域の交通サービスの姿」を明らかにする「マスタープラン」として役割を果たす計画であり、本市における公共交通に関する施策の方向性を示すものです。

計画対象地域

本計画は、南城市全域を対象とします。

計画期間

本計画の対象期間は、令和 8(2026)年度から令和 12(2030)年度の 5 年間とします。

■南城市地域公共交通網形成計画の評価

網計画の改定について

南城市地域公共交通網形成計画は、平成 30(2018)年度から令和 8(2026)年度の 9 年間で計画対象期間とする計画です。次年度までが計画期間ではありますが、計画の根拠法である「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が令和 2 年と令和 5 年に改正され、令和 6 年 4 月には「地域公共交通計画の実質化に向けた検討会 中間報告」が示されるなど、国の政策の変化を反映する必要が生じてきました。また、施策については、令和元年 10 月の再編により概ね実施し、計画当初に想定していた高規格道路である南部東道路の供用が想定よりも大幅に遅れていることから、1 年前倒しで改定することとなりました。

施策の実施状況

令和元年 10 月の再編により、施策についてはおおむね実施しています。

【主な実施施策】

- 市外への幹線バスの運行及び既存系統の見直し
- 市内の支線バスの運行
- 安座真船待合所への路線バスの乗り入れ
- 公共駐車場でのパーク&バスライドの実施
- 公共交通運行情報モニターの導入検討
- 公共交通アテンダントの導入検討
- モビリティ・マネジメントの実施
- 車両等の魅力向上策の実施検討 など

目標値の達成状況

目標値については、施策実施に関する目標値はおおむね達成していますが、満足度など利用者の評価に関する目標は未達成の項目が多く、引き続き、満足度向上に向けた取組が必要です。

■地域の現状

人口

- 令和 7 年 10 月末時における人口は、約 47,000 人で、増加傾向で推移しており、大里地域の北部では、過去 5 年間で 40%以上増加している地区もみられます。一方、玉城地域や知念地域では 20%以上減少している地区もみられ、那覇市に近いエリアで人口増加、離れたエリアで人口減少が進んでいます。
- 令和 2 年度国勢調査における高齢化率は 25.9%です。高齢化は徐々に進み、令和 12 年度には 28.9%に達すると推計されています。

施設

- 公共施設は、市の各地域に分散して立地しています。
- 商業施設、医療施設は佐敷地域、大里地域に多く集まっています。
- 観光資源は、世界遺産の斎場御嶽や、おきなわワールドなどを中心に、市の南部に多く分布しています。

プロジェクト等

- つきしろ IC 周辺で土地区画整理事業が進められており、商業施設や観光施設、住宅等の整備が計画されています。
- 市役所に隣接する敷地で、図書館やサークル活動や子どもの遊び場等を備えた複合施設の整備が進められています。

■上位関連計画

- 令和 6 年に沖縄県地域公共交通計画が策定され、南城市役所周辺は、地域拠点に位置付けられています。与那原方面とは、「基幹バスシステムを検討する方向」、南部東道路を經由して、那覇空港、中北部方面とは「広域圏を結ぶ利便性の高いバス」によるネットワークが示されています。
- 南城市総合計画では、「海と緑と光あふれる南城市」を将来像に、5 つの基本的政策が示されており、公共交通に関しては、公共交通利用環境の整備、公共交通網の結節点の整備が具体的な施策として示されています。
- 南城市都市計画マスタープランでは、中心部と各拠点や、拠点と市内外を公共交通等のネットワークで結び、生活利便性の向上、観光・交流の促進を図ることが、将来都市構造の基本的考え方として示されています。
- なお、現在、南城市立地適正化計画が策定中であり、同計画と整合をとりながら、本計画を改定していきます。

■公共交通の現状

公共交通ネットワーク

- 南城市の公共交通ネットワークは、路線バス、N バス、おでかけなんじい、タクシー、航路で構成されています。
- 南城市役所を中心に、路線バス、N バスのネットワークが形成されています。
- 市外への移動は路線バスが、市内の移動は主に N バスが担い、路線バス、N バスで対応できない地域や時間帯をおでかけなんじいやタクシーが補完しています。
- 安座真港と久高港を結ぶ航路は、久高島を連絡する唯一の公共交通です。

公共交通の利用状況

- コロナ禍で、一時的に公共交通の利用者数は減少しましたが、N バス、おでかけなんじいを合わせた市内を移動する公共交通利用者数は、増加しています。
- 路線バス、Nバスの利用は高校生が多く、おでかけなんじいは主に高齢者が利用しています。

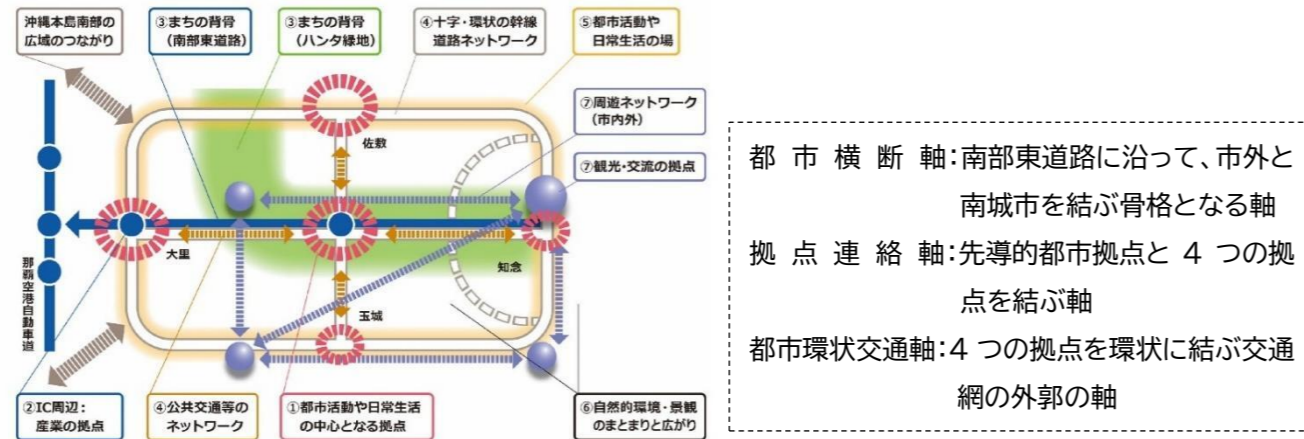
財政負担

- 人件費、燃料費の上昇により、N バス、おでかけなんじいの運営費用、財政負担は増加しています。

■地域交通の課題

課題①交通軸・交通拠点の形成・強化

南城市都市計画マスタープランに示された将来都市像の実現に向け、先導的都市拠点と、佐敷、知念、玉城、大里の4つの拠点を連絡する軸の形成と、各拠点における交通結節機能の強化が必要です。



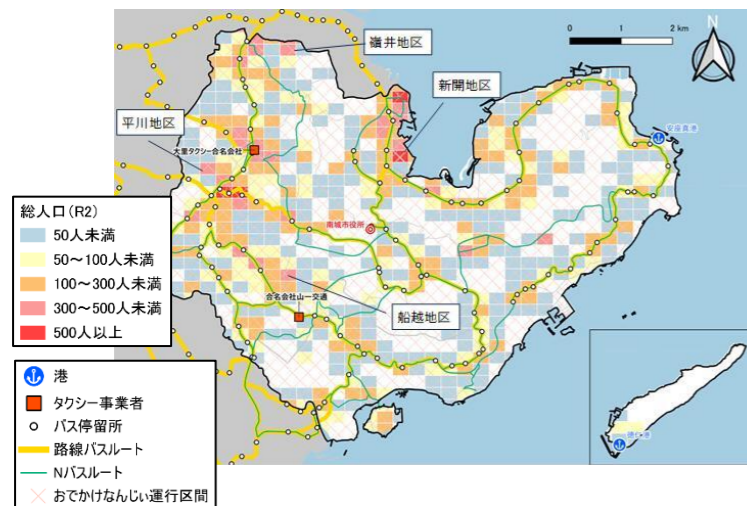
課題③交通不便地域・交通空白時間における移動利便性の向上

久高島を除く市内全域は、おでかけなんじいの運行エリアでカバーされているものの、一定の居住人口がありながら、路線バス、Nバスのバス停から離れた地区が点在していることから、これら地区におけるアクセス改善が必要です。

また、平日は18時以降おでかけなんじいの運行はなく、20時を過ぎると路線バス、Nバスのほとんどないことから、夜間の移動手段の確保も課題となっています。

新開地区、嶺井地区、船越地区、平川地区など人口が多いエリアで、バス停から少し離れた地域が点在

路線バス、Nバスの運行は6時～20時台、方向によっては日中運行されていない時間帯がある



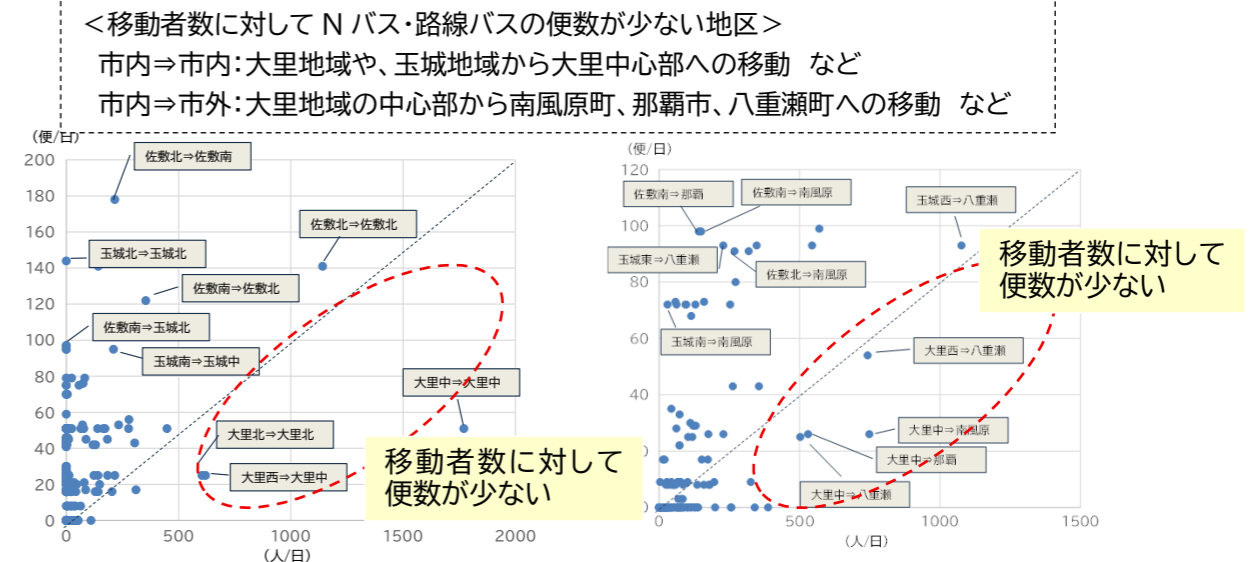
▲ 居住人口とバス路線網の関係

【平日】					【土曜】					【日・祝日】				
時間帯	佐敷・大里・南風原	A系統	B系統	C系統	時間帯	佐敷・大里・南風原	A系統	B系統	C系統	時間帯	佐敷・大里・南風原	A系統	B系統	C系統
0														
1														
2														
3														
4														
5														
6	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1
7	2	2	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	2	1
8	2	1	2	2	2	2	1	2	2	2	1	1	2	1
9	1	1	2	1	1	2	1	2	1	2	1	1	2	1
10	2	1	2	2	2	1	1	2	2	2	1	1	2	2
11	2	1	2	2	2	1	1	2	2	1	1	1	2	1
12	2	1	2	2	2	2	1	2	2	1	1	1	2	1
13	2	1	2	2	2	2	1	2	2	1	1	1	2	1
14	2	1	2	2	2	2	1	2	2	1	1	1	2	1
15	2	1	2	2	2	2	1	2	2	1	1	1	2	1
16	2	1	2	2	2	1	1	2	2	1	1	1	2	1
17	1	1	2	1	1	2	1	2	1	2	1	1	2	1
18	2	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1
19	3	1	2	2	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1
20	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
21														
22														
23														

▲ 南城市役所バス停の時間帯別方面別運行本数

課題②市内外の移動ニーズに応じた交通網の見直し

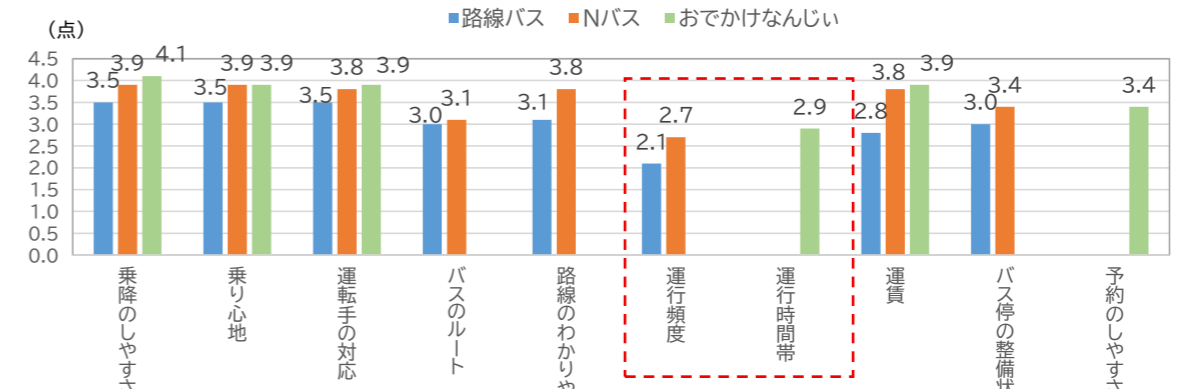
市内外の移動ニーズと、運行便数との間に乖離がみられる状況となっており、移動ニーズに応じた路線バス、Nバスの運行見直しや、新たな移動手段の導入などが必要です。



▲ 地区間の移動者数とバスの運行便数との関係（左：市内間、右：市内から市外）
 ※移動者数は市民アンケートより整理

課題④地域交通の利用促進に向けた利便性向上

路線バス、Nバスについては、運行頻度の評価が最も低くなっており、地域交通の利活用、維持を図るためには、運行頻度の確保や、乗継しやすいダイヤ設定など利便性向上を図る必要があります。



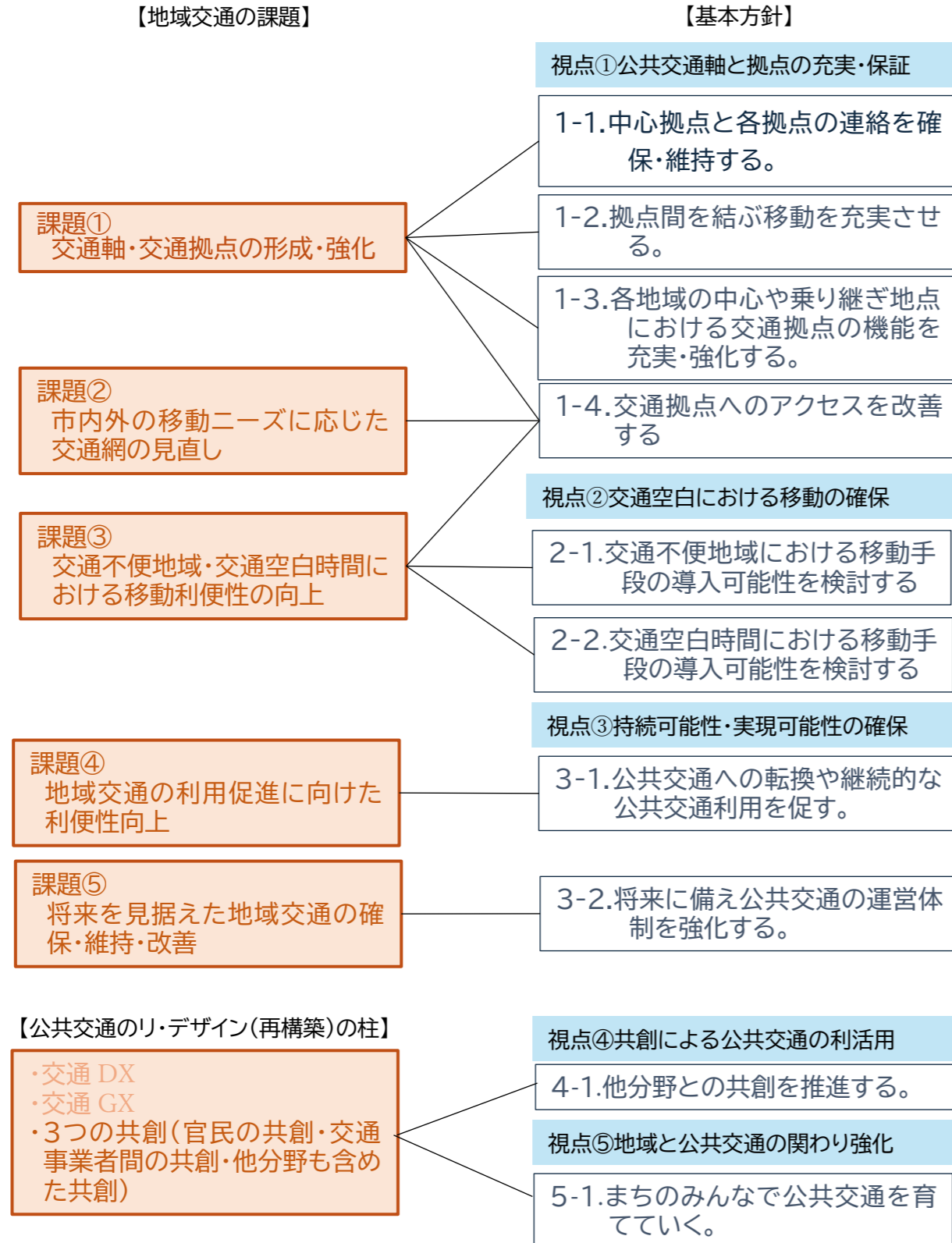
▲ 路線バス・Nバス・おでかけなんじいの満足度（5点満点）
 出典：市民アンケート

課題⑤将来を見据えた地域交通の確保・維持・改善

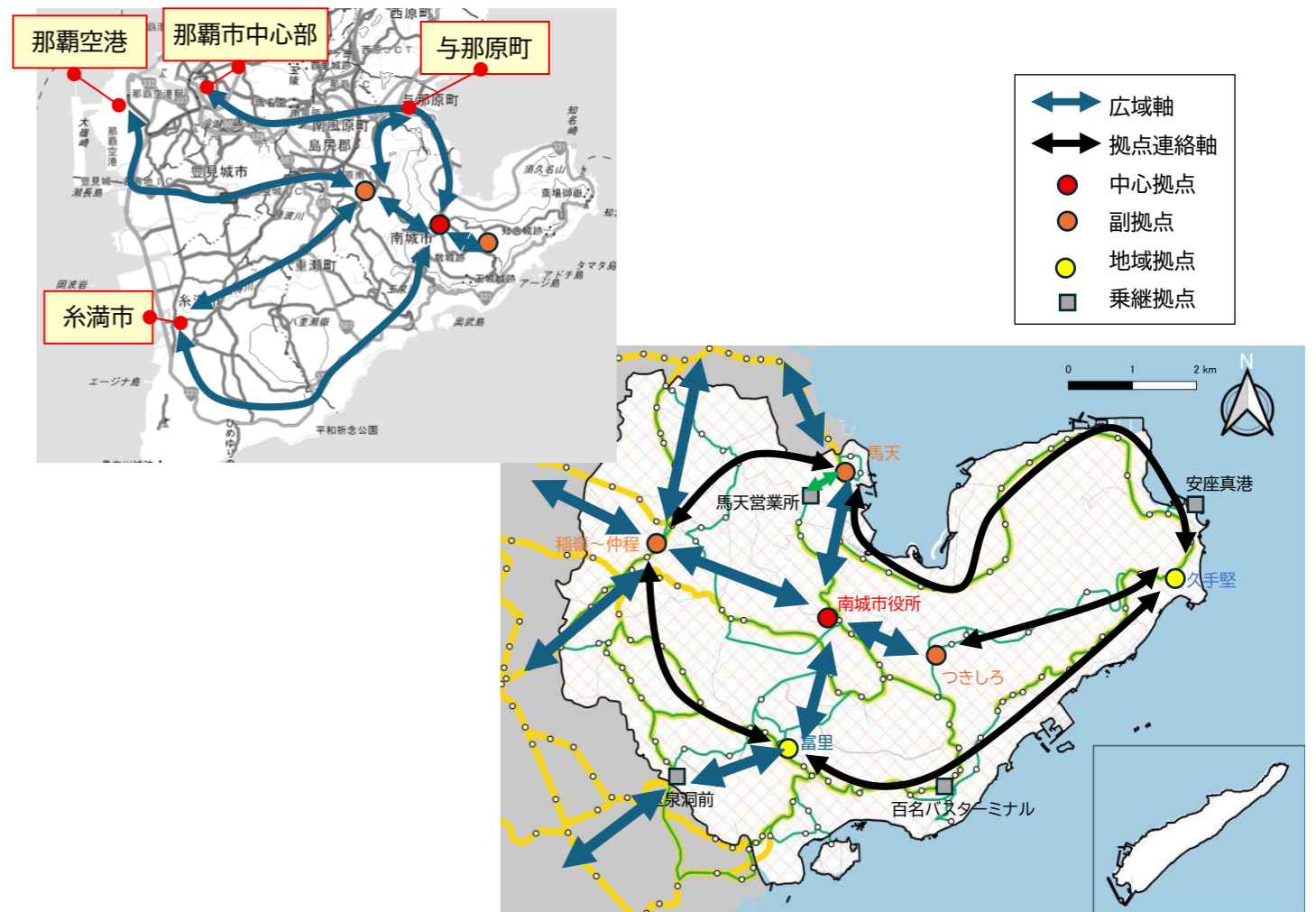
運転手不足による減便への対応が求められる一方で、つきしろ地区での開発に応じたバス路線の見直しが今後求められることになり、今後を見据えた地域交通の確保・維持・改善が必要です。

■基本方針の設定

地域交通の課題を踏まえ、「①公共交通軸と拠点の充実・保証」、「②交通空白における移動の確保」「③持続可能性・実現可能性の確保」の3つの視点に加え、地域による交通まちづくりを推進するため、「④共創による公共交通の利活用」、「⑤地域と公共交通の関わり強化」の5つの視点で基本方針を設定しました。



■将来ネットワークイメージ



種類	位置	役割
中心拠点	・南城市役所	市の中心的な交通結節点。路線バス、Nバスの起終点として、市内外の乗り継ぎを支える。公共交通利用のために、駐車場や駐輪場、スモールモビリティ等の二次交通も接続。
副拠点	・大里地域(稲嶺～仲程) ・佐敷地域(馬天) ・つきしろ地域	中心拠点を補完する交通結節点。路線バスとNバスが接続し、市内外の乗り継ぎを支える。
地域拠点	・知念地域(久手堅) ・玉城地域(富里)	地域の中心的な交通結節点。複数の路線バスやNバスの系統が接続し、地域内の乗り継ぎを支援
乗継拠点	・安座真港(航路・Nバス) ・玉泉洞前(路線バス・Nバス・おでかけなんじい) ・百名バスターミナル(路線バス・Nバス) ・馬天営業所(路線バス・Nバス)	複数の交通手段を乗り継ぐための交通結節点。

■施策メニュー

視点	方針	施策メニュー
視点① 公共交通軸と 拠点の充実・保 障	1-1.中心拠点と各拠点の連絡を確 保・維持する。	路線バス及びNバスによる拠点間の連絡強化
	1-2.市内の拠点間を結ぶ移動を 充実させる。	拠点間をつなぐ移動利便性の向上
	1-3.各地域の中心や乗り継ぎ地点 における交通拠点の機能を充 実・強化する。	バスターミナルの整備検討
		市役所バス停のアップデート
		大里地域での交通結節点の利便性向上
		地域拠点、乗り継ぎ拠点における待合環境の整備
		交通拠点における接続ダイヤの改善
1-4.交通拠点へのアクセスを改善 する	拠点でのシェアサイクルの導入検討 移動ニーズに対応した路線の見直し検討 那覇空港への直行バスの導入検討	
視点② 交通空白にお ける移動の確 保	2-1.交通不便地域における移動手 段の導入可能性を検討する	新たなモビリティ等の導入検討 地域主体の新たな移動サービスの導入検討
	2-2.交通空白時間における移動 手段の導入可能性を検討する	夜間の移動手段の導入検討 那覇空港への直行バスの導入検討【再掲】
	視点③ 持続可能性・実 現可能性の確 保	3-1.運行サービスを維持しつつ、 利用促進策を実施する。
公共交通に関する情報発信の充実・強化		
交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)の実施		
利用促進イベントの実施		
新たな利便性向上策の検討		
乗継割引の導入検討		
3-2.将来に備えた確保・維持・改 善策を検討する。		二種免許取得に対する支援(Nバス) Nバス及びおでかけなんじいの継続的な運営改善 南部東道路開通を見据えた再編案の検討 拠点に人が集まる仕組みづくり
視点④ 共創による公 共交通の利活用	4-1.他分野との共創を推進する。	教育分野との共創
		福祉分野との共創
		観光分野との共創
		その他分野との共創
		拠点に人が集まる仕組みづくり【再掲】
視点⑤ みんなではぐく む地域交通	5-1. まちのみんなで公共交通を育 てていく。	産官学民の参画による地域公共交通計画の推進体制の構築 地域(住民・利用者・企業等)が主体的に関わる取組の検討

■KPI(評価指標)

視点	方針	評価指標案
視点① 公共交通軸と拠 点の充実・保証	1-1.中心拠点と各拠点の連絡を確 保・維持する。	・公共交通分担率 ・公共交通に対する 満足度
	1-2.市内の拠点間を結ぶ移動を充 実させる。	
	1-3.各地域の中心や乗り継ぎ地点 における交通拠点の機能を充 実・強化する。	
	1-4.交通拠点へのアクセスを改善 する	
視点② 交通空白におけ る移動の確保	2-1.交通不便地域における移動手 段の導入可能性を検討する	・交通空白の対策取 組数
	2-2.交通空白時間における移動手 段の導入可能性を検討する	
視点③ 持続可能性・実 現可能性の確 保	3-1.運行サービスを維持しつつ、 利用促進策を実施する。	・公共交通利用者数 (Nバス、おでか けなんじい) ・公共交通に対する 認知度
	3-2.将来に備えた確保・維持・改善 策を検討する。	
視点④ 共創による公 共交通の利活用	4-1.他分野との共創を推進する。	・共創による取組数
視点⑤ 地域と公共交 通の関わり強 化	5-1. まちのみんなで公共交通を育 てていく。	・地域が主体的に関 わる取組数

■進捗管理

本計画は、5年の計画期間全体を対象とした「大きなPDCAサイクルと、毎年のモニタリングを中心とした「小さなPDCAサイクル」を組み合わせることで、計画達成に向けた継続的な改善を推進します。

計画の進捗をマネジメントする主体は「南城市地域公共交通会議」であり、毎年度の評価結果は、翌年度のはじめの同会議に報告され、適宜、見直します。また、交通会議の下部組織として、交通事業者等からなる「マネジメント・モニタリングチーム」を設置し、施策の実施状況や、目標値の達成状況等のチェックと、必要に応じて、施策の見直し案の検討などを行います。